平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月７日

上 場 会 社 名	国際計測器株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7722	URL	http://www.kokusaikk.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	松本　繁
問合せ先責任者	（役職名） 取締役総務部長	（氏名）	松本　博司　　(TEL) 042-371-4211
四半期報告書提出予定日	平成25年11月11日	配当支払開始予定日	平成25年12月２日

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	5,089	12.3	576	193.7	600	490.9	364	554.8
25年３月期第２四半期	4,532	5.1	196	△6.5	101	△30.8	55	△20.0

（注）包括利益 26年３月期第２四半期　　589百万円（　　－%）25年３月期第２四半期　　△41百万円（　　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	26.00	―
25年３月期第２四半期	3.97	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	15,719	7,336	46.4
25年３月期	14,351	6,956	48.2

（参考）自己資本 26年３月期第２四半期　　7,289百万円　　25年３月期　　6,920百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
26年３月期	―	20.00			
26年３月期(予想)			―	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.4	2,000	33.2	2,000	29.3	1,200	38.2	85.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	14,200,000株	25年３月期	14,200,000株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	184,556株	25年３月期	184,556株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	14,015,444株	25年３月期２Ｑ	14,015,459株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報…… 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報…… 4
(3)　連結業績予想に関する定性的情報…… 5

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 6

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 6
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 6
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 6

３．四半期連結財務諸表…… 7

(1)　四半期連結貸借対照表…… 7
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 9
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書……11
(4)　継続企業の前提に関する注記……12
(5)　セグメント情報等……12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……13

４．補足情報……14

生産、受注及び販売の状況……14

※　当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成25年11月21日（木）・・・・・・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心に受注や採算の改善がみられるなど、企業収益や個人消費の一部に回復傾向がみられました。しかしながら、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、主力ユーザーである国内自動車関連業界は円安・株高を背景として、輸出比率の高い大手メーカーを中心に回復の兆しが窺がえるものの、円安効果による大手メーカーの輸出拡大を背景とした設備投資需要まで繋がっていないなど、期待する景気回復にはもう暫く時間を要するものと思われます。

このような環境のもと、当社グループは、前連結会計年度に引き続き堅調に推移している中国・東南アジアの自動車・タイヤメーカーの設備投資情報を的確に把握し、積極的な営業活動を展開して受注実績に結び付けてまいりました。また、研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の営業にも注力いたしました。当第２四半期連結累計期間においては、主力の生産ライン用タイヤ関連試験機を中心に97億３千６百万円と目標を大幅に上回る受注を獲得いたしました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、50億８千９百万円（前年同四半期比12.3％増）、営業利益は５億７千６百万円（前年同四半期比193.7％増）、経常利益は６億０百万円（前年同四半期比490.9％増）、四半期純利益は３億６千４百万円（前年同四半期比554.8％増）となりました。

売上高につきましては、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が円安ドル高に推移したことにより、前年同四半期と比較して増加いたしました。

利益面につきましては、上記理由により原価率が改善したため、前年同四半期と比較して増加いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向け生産ライン用タイヤ関連試験機が予算を大幅に上回る受注を獲得いたしました。売上高は同タイヤ関連試験機を中心として39億３千２百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益（経常利益）は７億８千４百万円（前年同四半期比222.7%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

予定通り平成25年５月初旬に本社第三工場への移転を完了し、６月以降新工場での本格的な稼働を開始しております。当第２四半期連結累計期間は、主力製品である金属材料の高温強度試験装置を中心に受注及び売上が増加しております。その結果、売上高は３億４千１百万円（前年同四半期比104.6%増）、セグメント損失（経常損失）は３千８百万円（前年同四半期は７千７百万円の損失）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注は前連結会計年度に引き続き堅調に推移しておりますが、大型案件の納入は第３四半期以降を予定しております。その結果、売上高は５億１千３百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント損失（経常損失）は３千２百万円（前年同四半期は６千８百万円の利益）となりました。

〔韓国〕

当第２四半期連結累計期間において自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は６億６千６百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益（経常利益）は１億１千７百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

〔中国〕

中堅タイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は３億８千１百万円（前年同四半期比57.9%増）、セグメント利益（経常利益）は１千１百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、105億２千０百万円（前連結会計年度末比13億２千６百万円増）となりました。これは、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比８億１千６百万円減）したものの、受注残高の増加により仕掛品が増加（前連結会計年度末比10億３千７百万円増）したこと、国内連結子会社の東伸工業株式会社の本社工場を売却したことや前受金が増加したことにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比９億６千０百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、51億９千８百万円（前連結会計年度末比４千０百万円増）となりました。これは、本社第三工場の竣工により建設仮勘定が減少（前連結会計年度末比６億６千１百万円減）したものの、建物及び構築物が増加（前連結会計年度末比９億４千７百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、59億５千４百万円（前連結会計年度末比７億１千８百万円増）となりました。これは、受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比６億５千５百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、24億２千８百万円（前連結会計年度末比２億６千９百万円増）となりました。これは、設備投資資金及び長期運転資金を調達したことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比３億１千０百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、73億３千６百万円（前連結会計年度末比３億７千９百万円増）となりました。これは、円安ウォン高や円安ドル高の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比２億１千９百万円増）したことや四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比１億５千４百万円増）したことが主たる要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により11億１百万円増加し、投資活動により１億４百万円増加し、財務活動により２億１千７百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第２四半期連結累計期間に比べ５億９千２百万円増加し、25億５千７百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、11億１百万円の収入（前年同四半期比７億４千１百万円の収入増加）となりました。これは、受注残高の増加に伴いたな卸資産が増加したことにより９億６千２百万円の支出となったものの、売上債権の回収により８億９千７百万円の収入となったこと、税金等調整前四半期純利益を６億３千０百万円計上したこと、前受金の増加により６億１千７百万円の収入となったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、１億４百万円の収入（前年同四半期は３億７千２百万円の支出超過）となりました。これは、本社第三工場の改築に伴う有形固定資産の取得による支出が４億９百万円あったものの、資金運用のために定期預金の払戻による収入が５億９百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、２億１千７百万円の支出超過（前年同四半期は６億９千４百万円の収入）となりました。これは、長期運転資金の調達のため長期借入れによる収入が９億円あったものの、長期借入金の返済による支出が５億９千２百万円あったこと、短期借入金の減少により３億１千５百万円の支出となったこと、配当金の支払いが２億９百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

例年、第２四半期及び第４四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成25年５月15日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,992,260	3,953,173
受取手形及び売掛金	3,850,738	3,034,454
商品及び製品	147,384	102,111
仕掛品	1,352,038	2,389,892
原材料及び貯蔵品	472,001	490,215
繰延税金資産	245,985	246,036
その他	141,606	312,719
貸倒引当金	△7,777	△7,664
流動資産合計	9,194,238	10,520,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,454,068	2,401,923
機械装置及び運搬具	182,249	210,693
土地	1,675,179	1,314,166
リース資産	3,187	3,036
建設仮勘定	661,765	―
その他	130,978	138,400
減価償却累計額	△1,082,671	△1,022,453
有形固定資産合計	3,024,757	3,045,766
無形固定資産		
リース資産	2,651	2,259
その他	57,662	64,171
無形固定資産合計	60,313	66,430
投資その他の資産		
投資有価証券	215,985	204,759
長期貸付金	33,131	32,647
繰延税金資産	759	21,676
保険積立金	1,653,388	1,715,477
その他	212,191	159,908
貸倒引当金	△43,325	△48,538
投資その他の資産合計	2,072,131	2,085,931
固定資産合計	5,157,202	5,198,129
資産合計	14,351,441	15,719,068

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,876,686	2,328,081
短期借入金	740,000	425,000
1年内返済予定の長期借入金	766,990	764,472
リース債務	1,195	1,195
未払法人税等	558,256	372,715
賞与引当金	113,308	166,867
製品保証引当金	200,578	205,319
前受金	634,058	1,289,162
その他	344,992	401,894
流動負債合計	5,236,066	5,954,707
固定負債		
長期借入金	1,616,608	1,926,972
リース債務	4,484	3,886
繰延税金負債	192,154	114,357
退職給付引当金	197,806	224,361
役員退職慰労引当金	143,023	147,823
資産除去債務	4,336	10,658
固定負債合計	2,158,412	2,428,058
負債合計	7,394,479	8,382,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,447,928	5,602,086
自己株式	△150,957	△150,957
株主資本合計	7,256,470	7,410,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,384	54,127
為替換算調整勘定	△395,063	△175,445
その他の包括利益累計額合計	△335,679	△121,318
少数株主持分	36,170	46,991
純資産合計	6,956,962	7,336,302
負債純資産合計	14,351,441	15,719,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	4,532,206	5,089,490
売上原価	3,028,536	3,085,244
売上総利益	1,503,669	2,004,246
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	98,443	122,428
貸倒引当金繰入額	9,935	7,668
役員報酬	83,190	83,670
給料手当及び賞与	254,895	295,969
賞与引当金繰入額	54,632	70,506
退職給付費用	18,004	17,441
役員退職慰労引当金繰入額	4,800	4,800
運賃	140,139	156,014
減価償却費	11,157	17,792
研究開発費	3,917	8,902
その他	628,162	642,293
販売費及び一般管理費合計	1,307,278	1,427,487
営業利益	196,391	576,758
営業外収益		
受取利息及び配当金	26,481	20,364
為替差益	－	12,001
その他	15,405	33,149
営業外収益合計	41,886	65,516
営業外費用		
支払利息	13,343	15,343
持分法による投資損失	7,936	5,414
売上債権売却損	5,099	3,418
支払手数料	26,408	4,647
為替差損	78,748	－
保険解約損	1,809	8,605
その他	3,284	4,168
営業外費用合計	136,631	41,597
経常利益	101,646	600,677
特別利益		
固定資産売却益	－	30,181
特別利益合計	－	30,181
特別損失		
固定資産除却損	175	856
特別損失合計	175	856
税金等調整前四半期純利益	101,471	630,002
法人税、住民税及び事業税	73,882	352,141
法人税等調整額	△31,734	△92,884
法人税等合計	42,147	259,257
少数株主損益調整前四半期純利益	59,324	370,745
少数株主利益	3,678	6,356
四半期純利益	55,645	364,389

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	59,324	370,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,645	△5,256
為替換算調整勘定	△63,511	221,788
持分法適用会社に対する持分相当額	283	2,294
その他の包括利益合計	△100,874	218,825
四半期包括利益	△41,550	589,571
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,626	578,751
少数株主に係る四半期包括利益	4,076	10,820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	101,471	630,002
減価償却費	29,963	53,572
のれん償却額	35,281	－
持分法による投資損益（△は益）	7,936	5,414
貸倒引当金の増減額（△は減少）	9,969	3,537
賞与引当金の増減額（△は減少）	30,561	53,131
製品保証引当金の増減額（△は減少）	20,550	3,725
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,588	26,185
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,800	4,800
受取利息及び受取配当金	△26,481	△20,364
支払利息	13,343	15,343
為替差損益（△は益）	37,892	△5,730
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△30,181
売上債権の増減額（△は増加）	1,038,741	897,220
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,708	△962,029
仕入債務の増減額（△は減少）	△683,371	429,864
前受金の増減額（△は減少）	△16,654	617,307
その他	112,821	△5,017
小計	729,123	1,716,779
利息及び配当金の受取額	23,564	19,107
利息の支払額	△13,107	△16,124
法人税等の支払額	△378,955	△617,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	360,624	1,101,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△378,425	△319,759
定期預金の払戻による収入	420,037	509,465
有形固定資産の取得による支出	△315,109	△409,405
有形固定資産の売却による収入	－	393,088
保険積立金の積立による支出	△108,079	△102,626
保険積立金の解約による収入	9,946	31,931
その他	△582	2,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372,211	104,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	420,000	△315,000
長期借入れによる収入	900,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△345,746	△592,154
自己株式の取得による支出	△10	－
配当金の支払額	△279,690	△209,697
リース債務の返済による支出	－	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	694,552	△217,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,974	59,754
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	634,989	1,048,771
現金及び現金同等物の期首残高	1,329,602	1,508,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,964,591	2,557,151

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	3,381,305	166,379	435,357	319,719	197,266	4,500,029	32,177	4,532,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	305,392	677	222	285,676	44,445	636,415	19,226	655,641
計	3,686,698	167,057	435,580	605,395	241,712	5,136,444	51,403	5,187,847
セグメント利益又は損失（△）	243,129	△77,818	68,184	134,531	12,332	380,359	1,184	381,544

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	380,359
「その他」の区分の利益	1,184
セグメント間取引消去等(注)	△279,897
四半期連結損益計算書の経常利益	101,646

(注)　セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が235,110千円含まれております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	3,532,369	341,881	513,141	261,964	278,811	4,928,168	161,322	5,089,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	400,451	－	－	404,335	102,923	907,710	20,081	927,792
計	3,932,820	341,881	513,141	666,299	381,735	5,835,878	181,404	6,017,282
セグメント利益又は損失（△）	784,650	△38,300	△32,943	117,210	11,276	841,893	17,968	859,861

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	841,893
「その他」の区分の利益	17,968
セグメント間取引消去等(注)	△259,183
四半期連結損益計算書の経常利益	600,677

（注）　セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が286,905千円含まれております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

区　分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,681,018	＋11.9	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	382,872	＋1.4	日本(国際)
材料試験機	341,881	＋104.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	361,315	△17.7	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	322,411	＋25.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	5,089,497	＋12.4	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

区　分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	7,513,531	＋130.3	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	838,614	△28.1	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	450,695	＋7.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	502,844	＋5.7	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	430,866	＋38.9	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	9,736,553	＋72.8	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第２四半期連結累計期間末（平成25年９月30日）

区　分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	8,155,540	＋102.5	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,841,596	＋6.2	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	406,034	＋28.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	741,090	△0.6	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	130,958	＋49.0	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	11,275,220	＋63.1	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

区　分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,681,011	＋11.8	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	382,871	＋1.6	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	341,881	＋104.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	361,315	△17.7	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	322,410	＋25.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	5,089,490	＋12.3	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。